

# ひびばい 市議会だより

平成30年5月1日

43号

発行 美 唄 市 議 会  
編集 市議会広報委員会



市立美唄病院・保健福祉総合施設基本設計市民説明会

平成30年第1回定例会は、3月1日に開会し3月22日に閉会され、補正予算案件4件、人事案件1件、陳情2件などを含む44件が上程されました。

本会議では、市長から「平成30年度市政執行方針」について、また、教育長からは、「平成30年度教育行政執行方針」が、それぞれ示されました。

7日と8日の2日間で一般質問が行われ、9人の議員が市長ならびに教育長に質問を行いました。

12日から16日に行われた予算審査特別委員会では、平成30年度一般会計154億6654万9千円の他、特別会計6件、85億3372万3千円、企業会計3件、32億1869万円となりました。また、平成29年度一般会計補正予算

## 第1回定例会(3月1日～3月22日)終わる

☆ 平成30年度一般会計予算歳入歳出  
154億6654万9千円可決

☆ 市立美唄病院・保健福祉総合施設建替え事業  
実施設計延期が決まる

(8・9号)では、地域包括支援システム改修事業や、小中学校管理運営事業、担い手確保・経営強化支援事業、農業競争力基盤強化特別対策事業、特産品情報発信促進事業、除排雪事業など、1億724万1千円となりました。

最終日の22日には、急きょ地域医療体制等調査特別委員会を行い、市立美唄病院建替えの実施設計延期の報告を受け、本会議では委員長報告を行い、すべての議案が可決され、平成30年度第1回定例会は閉会しました。

### ◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

# 一般質問

今定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

日本共産党議員団

吉岡 建二郎 議員



ながら事業を進めていくことなどについて答えた。

**問** 市民説明が足りていないとの声が多い。このままではまちづくり基本条例に反するのではないか。

**答** 説明の言葉や表現が難しかったことなどから、理解が深まらなかつたと感じている。まちづくり基本条例に反しているとは考えてないが、市民との対話を大切にしながら、様々な機会を通じて説明する場を設け、言葉や資料を工夫するなど、丁寧な説明に努めていく。

**問** 南美唄地区共同浴場について。成立ちと現在の運営状況について。

**答** 閉山対策の一環として昭和58年10月に建設費を市の負担で現在地に設置された。維持費は全てを利用料等で賄うこととしてきた。近年は利用料のみでの運営が厳しくなつたため、赤字は指定管理者に

委託料として支出している。**問** 用途廃止の考え方について。

**答** 閉山対策の目的は達成したものと考えている。廃止については今後、老朽化に伴う修繕や、赤字体質から抜け出せない場合等、状況に応じて、指定管理者や地域住民と協議を重ねて検討する。

みずほ議員会

桜井 龍雄 議員



**問** 本市の創生に向けては、人口減少対策は取り組むべき喫緊の課題として、移住定住の両面で取り組んでいく必要があると考えますが、市民の定住を促進させる「定住施策」の構築が必要だと強く感じま

すが、制度の拡充についてお伺いいたします。

**答** 新年度における新たな取り組みとして、移住者や市民の皆さんが市の分譲地を購入して3年以内に住宅を建設した場合の土地の購入費の7割を補てんする制度や冬期間の間口除雪にかかる経費の一部を助成する制度を創設してまいります。今後も協議会の皆さんと連携を図り事業の効果、検証を行いながら有効かつ効果的なものとなるように取り組んでまいります。

**問** 保育行政についてですが、今後のへき地保育所はどのようになつていくのか、また入所率の高い進徳保育園の保育士が足りない、聞いているがどのような対応ができていくのか、全国的な保育士不足で市としてはどのように考えているのかを伺います。

**答** 今後のへき地保育所のあり方については、運営委員会と協議を行いながら検討してまいります。進徳保育園の保育士不足については、ホームページの掲載や市役所一階に求人掲示板への保育士募集をしていきます。また保育士を養成する大学等へ早めに求人

公正クラブ

川上 美樹 議員



**問** 新市立美唄病院の基本設計に関して、これまでも、コスト高になる部分や、患者の動線を考えた設計について、改善点を提案してきた。「市民との協働のまちづくり」を進めていく中で、建設費の高騰についても人口減少の中、病院経営、財政確保がしっかりと出来なければ基本設計を再度見直す事も必要ではないか。いずれにしても、今の子供達に大きな将来負担を背負わせ

# 市議会だより

るような事が無いよう、本市の今と将来を見据えた設計にすべきではないか。

**答** 患者の推移や医療政策の動向等から必要な機能を整理し、可能な限り面積を抑えた建物としており、救急外来、人工透析等、一定の規模や人員体制が必要であり基本設計の変更は考えていない。

**問** 日中に市民バスの乗客が少ない事がよくある。昨年秋季にはバス時刻・路線を実験的に見直した運行を試みたが、どうか。市民皆の意見を全て反映できるわけではないので、市民も買物や病院予約についてバス時刻にあわせた行動も必要と思うが、できるだけ、市民ニーズに沿ったバス路線、時刻表、また例として菜の花通り等バスが通っていない部分も検討すべき。

**答** 南美線は良い声を多く得られたが、東線、西線については利用実態に合わせて再考する。

《その他の質問事項》  
○障がい者の状況把握と共に就労支援の推進を  
○在宅医療について市民にもっと周知すべき

無党派

森川 明 議員



**問** 地域行政、空き家対策について「特別措置法」が二〇一五年に全国施行されたが、「特定空き家」が年々増加し全国で六四〇〇件、道内一二四一件と国交省は公表した。市も適正管理条例を定めており、「空き家バンク」を含め、空き家数、苦情件数、市の実態と今後の対策を伺う。

**答** 実態調査の結果、空き家数は三七四件、苦情は年間一六五件もあった。空き家対策は重要な課題の一つであり、総合的・一体的に取り組みたい。

**問** 「特定空き家」認定件数を早期に把握すべきと思う。

**答** 未策定の「空き家対策計画」を定め、「特定空き家」に認定する等、取り組んでいく。

**問** 観光行政、樺戸道路(峰延道路)の観光活用について、昭文社の道路マップに「シラカバ街道」を位置付け、北海道新聞社二〇〇の道にも選定、最近では観光PR動画も作成された樺戸道路、市が事務局を担当する一〇団体による協議会の周遊ルートづくりの活動状況、看板の設置、シラカバの整備、桜の植樹等伺う。

**答** 三市一町により設置された協議会、モニターツアー及び意見交換会を実施した。看板は検討したい。シラカバの整備は、市の防風林となっており、カミキリムシに蝕まれ、道に有効対策を要請している。桜は病害虫にかかりやすく難しい。

《その他の質問事項》  
○農業行政、二〇一八年産コメ「生産の目安」が公表された。市の状況と今後の対策について  
○教育行政、スポーツ庁公表の体力テスト、市の実態  
○公表された児童、生徒の肥満の現状と対策  
○日の丸、君が代について

みずほ議員会

金子 義彦 議員



**問** 農業振興について

**答** 安定的な農業生産可能な環境づくりに向け、生産基盤整備事業の推進、振興作物の支援や継続、担い手の育成、確保に取組む他、先進農業の確立のため国などの事業を活用し、本市の基幹産業である農業の振興・発展に必要な対応を行う。

**問** 「道立林業大学校」について、道の取り組み、他地域の誘致状況について

**答** 平成32年度をめどに(仮称)北海道林業大学校を設立し、2年間の就学期間での実践教育を行い、(仮称)北海

道林業大学校基本構想案を策定し、具体的な検討を進めるとしている。他の地域の誘致活動について、本市を含め13の地域が活動している。引き続き道の動きを注視しながら誘致実現に取り組む。

**問** 平成29年度一般会計決算見込みについて

**答** 今後の特別交付税の配分などの不確定要素はあるが、本年度の普通交付税、臨時財政対策債額が1億2011万円減額されたほか、「除排雪事業」に、1億7250万円補正し、更なる補正を追加提案させていただいた。特別交付税要望を総務省にしているものの、3月下旬の交付決定までわからない状況であり、基金取り崩しも検討しなければならぬ可能性もある。

《その他の質問事項》  
○保健について  
○消防について

# 市議会だより

公正クラブ

松山 教宗 議員



**問** サイクルツーリズム受入環境整備としゅくりん館新宿泊棟が完成するが本市への経済効果をどう試算しているか。

**答** 平成28年に実施した経済効果調査によると交通費や飲食費、お土産代などを含めた宿泊観光客1人当たりの消費単価1万6千7百29円と推計され、年間30000名の利用見込みで5018万7千円、入湯税30万円の本市への経済効果があると試算している。

**問** 中心市街地活性化のため商業者にWifi整備の周知を行うと平成28年一般質問で答弁があったがどうなったか。

又、中心市街地活性化の地方創生交付金が平成30年度で終了するが、今後どのように支援していくのか。

**答** 商業者へのWifi整備支援は商工会議所を通じ国等の補助事業の情報提供しているが整備した経緯がなく引き続き情報提供に努めていく。又、平成30年度で中心市街地元気創出事業の交付金が終わるので今後のあり方についてはしっかりと検討して行く。

**問** 東京オリ・パラリンピック事前合宿誘致を推進してきたが受入環境は厳しく取組みを続けるか否か判断する時期。もう方向転換をすべき。

**答** 約3年間にわたり東京オリ・パラ事前合宿誘致に関する情報収集や誘致活動の結果を踏まえ、スポーツ振興を通じた健康都市づくりを推進する施策の1つだが、受入環境について財政が厳しい中での施設の大規模改修、言語や食事対応、交通費支援等解決が困難な課題があり、誘致を止め既存施設を活用し学生・社会人等の合宿誘致に方向転換しクライミング壁等をPRし大会開催誘致等特色を活かしたスポーツ振興に努める。

日本共産党議員団

吉岡 文子 議員



**問** 公共交通について、市民バスと乗合タクシーの料金、料金改定の基本的考え方について

**答** 市民バスは一律200円、乗合タクシーは自宅までの距離に応じて200円から400円。料金改定については平成14年の運行開始時から料金改定は行なっていない。車両の老朽化に伴い、平成26年から28年にかけて4台の車両を更新した。平成30年度以降車両更新にかかる経費増や諸経費の増など運行に伴う経費が増加していることから一定の料金改定について検討したい。

乗合タクシーは美唄市地域公共交通網形成計画において収益率の改善を目的として運賃の値上げを計画している。昨年12月に利用者を対象に料金改定についてのアンケートを実施。東地区では100%、西地区では82.7%の方から「値上げはやむをえない」との回答を得ている。今後、近隣市町村の状況等を調査し、料金改定について検討する。

**問** 子どもの貧困について昨年9月の一般質問において実態調査するとの答弁だったがその後の進捗状況は。

**答** 市内の保育所や幼稚園、小学生、中学生の保護者を予定しており、調査項目については昨年北海道が実施した生活実態調査を参考に。高校生生の保護者への調査は教育委員会と協議しながら検討する。

《その他の質問事項》  
 ○観光・交流について  
 ○児童生徒の読書推進について  
 ○不登校対策について

公正クラブ

山崎 一広 議員



**問** 29年度の財政状況について

①一般会計について  
 ②病院会計について

**答** ①除排雪事業も追加で補正したが、交付税の決定額によつては財調の取り崩しも検討。

②入院外来とも前年を下回っているが、診療単価の増加により、前年を上回る見通し、資金不足は発生しない。

**問** 農商工連携について

①販路拡大と新商品の開発について

**答** ①アンテナショップや道内外のイベントで情報発信し

# 市議会だより

ている。春から尚栄高校と新商品の開発に取り組む。

**問** 商工業振興について

①空洞化著しい商店街を、魅力ある商店街づくりについて

**答** ①昨年『びばい創業塾』開催、地域の活性化につなげたい、また、買い物バスの運行、各種イベントの開催、ワクワク祭りを引き続き開催。

**問** 環境行政について

①エコの丘の現状と、施設の在り方方向性について

**答** ①平成34年度末まで現状のまま、以降は近隣地や処分場の新設かは、平成30年度中に決定したい。

**問** 地域医療について

①市民説明会を終えて市長の素直な考えかたについて

②将来を見据えた財政推計を市民に示してはどうか

**答** ①現状を見直し分りやすく説明していきたい。

**問** ①実施設計に当たり、保健福祉施設の建替えを見送ってはどうか

**答** ①立地適正化は5年と決まっております、難しいが関係者と協議して行きたい。

公正クラブ

土井 敏興 議員



**問** 今後の美唄農業の姿と戦略的な作物への取り組みは

**答** 今後は①強い農業経営基盤づくり②消費者に信頼される産地づくりを基本に、生産者や農業関連団体と連携を強め、所得向上を目指したい。また、戦略的には、米・麦・大豆を軸に、なたねや野菜、花卉などの複合化も視野に、販路確保・拡大には、安全性重視の観点から、イエス・グリーン登録や有機JAS・JGAP等について、市クリーン農業推進協議会と検討していく。

**問** 新国保制度内容と影響は

**答** この事業は、道と市町村が国保の運営を行い制度の安定化を目指す、納付金制度のもと市町村の納付金などを決定。市町村が道に納付し、保険料の決定や保険証発行、医療費支払いは従来通り行う。影響については、市の国保事業費でも縮小と見込まれる。

**問** 市立美唄病院建て替え計画について、長期的将来展望を考えると、危険水域に踏み込まず、市内外との医療連携を図り、機能的でコンパクトな病院に見直すべきと思うが

**答** 地域包括ケアの実現に向け総合的な保健福祉と病院の整備を図る経緯に基づく考えで、市民サービスに著しく影響と判断した時は見直したい。

**問** 進めるならば事業費を、より徹底的に精査し自ら先頭に立ち、覚悟と責任を持って役割を果たす決意のほどは

**答** 公的病院として民間医療機関で採算性の厳しい救急医療も行う使命もあり、在宅医療の充実等役割が大きい。今後とも、財政負担を抑え、市民に分かりやすい情報提供と丁寧な説明に努めていく。

## 委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容

《総務・文教委員会》

15号 美唄市の休日に関する条例等の一部改正の件

**問** 改正する条例の中に図書館が入っていないのはなぜか。

**答** 図書館の休日については、図書館規則で規定していることから、議会にはかからない。

16号 美唄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正の件

**問** 保育業界は低賃金で、非常にきつい労働なので、保育士が集まらない状況にあるが、認定こども園ひまわりと、ピパの子保育園の保育士の充足状況と、今後、充足に向けた新たな処遇改善策について。

**答** 現在、両園を合わせて、正規職員が18名、嘱託職員が8名、臨時職員が1名で、子どもに対する保育士の数としては、6名足りない状況になっていることから、嘱託職員と臨時職員をそれぞれ3名募集中心である。

また、新たな処遇改善策に

については、今のところ考えていないが、さまざまな面で検討を進め、必要と判断した場合には見直しを行っていきたい。

17号 美唄市立学校設置条例の一部改正の件



茶志内小学校

**問** 今回、統合される学校の歴史を刻む資料等については、統合する側の学校で保管するのか。

**答** 歴史に関わる資料については、今後、統合準備委員会で話を進めていくことになるが、これまでは基本的に、統合校で受け継いでいくことになる。

# 市議会だより

19号 美唄市火災予防条例の一部改正の件

問 高齢者向けの賃貸住宅や、グループホームは、特定防火対象物となるのか。

答 入居されている高齢者の要介護度や、障がいとの度合いなどの実態により、一般のアパートになるのか、特定防火対象物となるサービス付き高齢者住宅になるのかを判断しており、対象となる場合は、自動火災報知設備や、スプリンクラーなどの設置義務が発生する。

また、美唄市にある38のグループホームについては、自動火災報知設備の設置義務が発生している。

20号 美唄市消防手数料徴収条例の一部改正の件

問 準特定屋外タンク貯蔵所や、特定屋外タンク貯蔵所に区分があるが、美唄市には、どのランクに属するのものが、どれだけあるのか。

答 美唄市においては、500キロリットル以上の準特定及び特定屋外タンク貯蔵所は1基もないが、500キロリットル未満の屋外タンク貯蔵所

は23基ある。

18号 質疑なし

15号 20号 原案可決

《産業・厚生委員会》

22号 美唄市医療費助成条例の一部改正の件

問 今回の法改正については、平成30年度以降、新たに後期高齢者医療制度の被保険者となる者から適用となっているが、対象者はどれくらいいるのか。また、条例改正によって、対象者の医療費はどれくらい変わるのか試算はしているのか。

答 現状では対象者はいないため、試算もしていない。

23号 美唄市国民健康保険支払準備基金条例の一部改正の件

問 国民健康保険支払準備基金の残高はいくらなのか。また、基金は具体的にどういった場合に使用されるのか。

答 平成28年度決算では3200万円の残高だったが、現段階では基金保有額は29年度決算見込みではすべて取り崩す予定となっており、基金残高はゼロとなっている。また、医療費については全

額、北海道から普通交付金を受けているため、納付金を8期に分けて支払っていく際の資金繰りに際に活用される。



みんなで支える国民健康保険

25号 美唄市認定こども園条例の一部改正の件

問 栄幼稚園の閉園に伴い、これまで同園で行われていた幼稚園教育の継承を認定こども園で行う考えや、アルテピアッツア美唄での体験活動を今後行う予定はあるのか。

また、短時間保育については、定員が5人から15人に増えることで、職員配置の変更は考えていないのか。さらに、平成32年3月末で栄幼稚園が閉園するが、仮にその時の栄幼稚園の在園児がすべて認定こ

ども園への入園を希望した場合、15人の定員で園児の受け入れに支障はないのか。

答 これまでも特別支援の研修会等に認定こども園の保育士が参加したり、アルテピアッツア美唄への散歩や外遊びなどのさまざまな行事を通して子どもたち同士の体験交流などを図ってきており、閉園までの2年間で、一層両園で連携交流を深め、栄幼稚園で行っている教育について考えていきたい。職員配置については、1・2歳児については6人に対し1人、3歳児については20人に1人、4・5歳児については概ね30人に1人という保育士の最低基準があるが、全体定員の35人の枠はそのまま変わらないため、影響はないと考えている。また、栄幼稚園の閉園時には7人の園児が残る予定だが、短時間保育については、ここ数年は現定員の5人以内で推移してきており、今後も極端に増えることはないものと考えているため、仮に7人全員が認定こども園への入園を希望したとしても、15人の定員なので

受け入れに支障はないものと考えている。いずれにしても、全体定員35人を大幅に上回るものがなければ、弾力的な対応が可能なので、園児の受け入れに関して問題はない。



認定こども園ひまわり

26号 美唄市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件

問 権限移譲により、ケアマネージャーの指導方法は変わるのか。

答 介護支援専門員に対する指導権限については、従来どおり北海道が有するが、保険者機能の強化という観点で、市町村が介護支援専門員の支援を充実するということが権

# 市 議 会 だ よ り

(7)

限移譲の目的としてあるため、保険者においても支援していきたくと考えている。

**29号** 美唄市中小企業等振興条例の一部改正の件

**問** 旧の条文に入っていた「新たに雇用が発生する事業」という文言が、改正後には削られているが、その部分への助成もすべきではないか。

**答** 条例改正後も雇用が発生する新規事業に対しての助成は可能であるため、その周知に努めるほか、産業振興条例等でも雇用者に対する補助金の交付要綱をもっているため、両制度をうまく使いながら雇用の増に努めていきたい。

**30号** 美唄市都市公園条例の一部改正の件

**問** 市内にある都市公園の全体敷地面積と、それに対する運動施設面積の割合はどのくらいなのか。

**答** 東明公園は全体敷地面積41万2985平方メートルのうち、運動施設面積は14万3808平方メートルで、割合は34.82%、ゆたか公園は全体敷地面積1万1017平方メートルのうち、運動施設面

積は804平方メートルで、割合は7.3%となっている。



サンスポーツランド（東明公園）

**31号** 市道路線の廃止の件

**問** サイクリングロードの廃止に際し、東明駅舎周辺など観光客が訪れるであろう場所に立入禁止の看板の設置などを考えているのか。

**答** サイクリングロードへの出入りはどこからでも可能なため、その全てを塞ぐことは難しいが、観光客や景観にも配慮し、通行止めや立入禁止の看板をなるべく多くつけるようにしたい。

**21・24・27・28号** 質疑なし

**21・31号** 原案可決  
《予算審査特別委員会》  
委員長 土井敏興（公正ク

ラブ）

**副委員長** 楠 徹也（みずほ議員会）

**2号** 平成29年度美唄市一般会計補正予算（8号）

**問** 「担い手確保・経営強化支援事業」について、本事業に対する照会件数はどのくらいあったのか。また、峰延農協地域農業再生協議会地区が選ばれた決め手はなんであったのか。

**答** 美唄市農業地区から13件、峰延農業地区から3件、大富連合会地区から1件の合計17件の照会があった。

この事業は、取り組む内容等により配分基準が決められており、農業者が取り組む配分基準により、地区ごとのポイントとして予算の配分等を国で決められているので、峰延農協地域農業再生協議会地区の1件の配分基準が、国の予算の配分される基準よりも多かつたことから選定した。

**問** 「小学校管理運営事業」、「中学校管理運営事業」について、美唄中学校は、暖房の燃料費に不足は生じないのか。また、暖房をどのように管理

しているのか。

**答** 美唄中学校では灯油を使用しているが、使用料に不足は生じない見込みとなっている。また、南美唄小学校と美唄中学校を除いた各校では、日中は通常モード、夜は夜間モードで、24時間タイマー電源が入っており、凍結防止のため、10度以下を検知すると自動的にスイッチが入る設定になっている。

**34号** 平成29年度美唄市一般会計補正予算（9号）

**問** 「特産品情報発信促進事業」について、本年度のふるさと納税の増収の要因と、この度の補正額はどのような根拠に基づいて積算しているのか。

**答** これまで「ふるさとチョイス」というサイトだけを活用していたが、昨年9月から「さとふる」「ふるほ」の2つのサイトを追加し、特に「さとふる」の利用者数が見込みよりも1000件以上多かつたこと、昨年12月にあった、ふるさと納税に関するテレビCMの影響からか、12月に1000件を超える申し込

みがあったことなどが主な増収の要因となっている。補正額については、2月確定分と、今時点でふるさとチョイスに申込みのあった1件の見込みを勘案し積算している。



ふるさと納税返礼品

**4号** 平成29年度美唄市介護保険会計補正予算（2号）

**問** 「介護予防マネジメント事業」について、独自サービスの実施に伴い、市内の利用者にどのような効果や影響があるのか。

**答** 全体的に利用料金が安くなるが、ヘルパーについては利用時間の設定を45分としたため、利用者によってはこれまでよりも15分程度、利用時間が短くなる方が出てくるも

# 市議会だより

のと考えている。  
5号 平成30年度美唄市一般会計予算

## ・議会費、総務費

問 「移住・定住促進事業」について、他のまちから美唄市へ移住しようと思いい家を買ったが、助成金の交付に縛りがあり、助成を受けられなかったり減額されている方がいるようだが、交付要件について、パンフレット等への記載はきちんとしているのか。

また、助成金の有効活用に向け、交付要件の緩和は考えていないのか。

答 制度については、パンフレットやチラシに記載しているほか、窓口で状況に応じた説明をし、理解していただけるよう対応している。助成の拡充等については、美唄市移住・定住促進協議会と調査研究を重ね、今後も制度のPRに努めていきたい。

## ・民生費、衛生費

問 「シルバー人材センター補助事業」について、予算額が年々増えている要因と、登録者数や事業量の推移、また、市民ニーズはどういったもの

が多いのか。

答 予算額については、最低賃金が改定されたため、派遣事業に対する事務費の不足を補う分として26万円の増加となっている。シルバー人材センターの登録者数については、平成27年度末が228人、平成28年度末が228人となっており、市民の方から受ける受注件数は、平成27年度が3471件、平成28年度が2841件で、平成28年度は除雪が少なかったため減少している。また、市民ニーズとしては、草刈や除雪が大きいところであると考えているが、シルバー人材センターに対する信頼や、雇用ニーズも高いことから、今後もシルバー人材センターにはしっかりと支援をしていきたいと考えている。

問 「不妊治療費助成事業」について、前年度より30万円ほど予算が減額された理由と、平成29年度の助成実績について。また、問い合わせや相談制度に対する意見などはなかったのか。

答 この制度は平成29年度に開始し、初年度は5件の申請

を見込み、すべてを限度額の15万円で積算していたが、実際には限度額までに達しない方の申請もあり、平成30年度は、29年度の実態に合わせて積算をしたため減額となった。

なお、平成29年度の申請件数は2月現在までで5件あり、限度額15万円の申請が2件、10万7000円の申請が1件、7万3000円の申請が1件、6万2000円の申請が1件となっており、3名の方に助成している。また、問い合わせや制度に対する意見等は、事業開始後は寄せられていない。

・労働費、農林費  
問 「地域人材開発センター運営事業」について、求められている職種に対応した講座などが開催され、人材育成が図られているのか。また、人材不足が深刻な中、どのような職種の求人倍率が高いかなどの情報の把握・共有はしているのか。

答 市内では、輸送や運転、建設や採掘の職種の求人倍率が高いため、建設系の技能講習等は、ニーズが高いものと

考えている。また、人材開発センターでは、ニーズの高いパソコン講座の開催数を増やしたり、新たに簿記試験等の検定試験の開催を検討するとしており、今後とも、ふるさとハローワークや商工会議所等と情報共有を図り、時代に即した効果的な人材育成の実現に向け、地域人材開発センターと協議を重ねていきたい。

問 「畑作生産振興事業」について、ハスカップ樹とアスパラガス苗の購入の取り組みに対して、新年度はどれぐらいの量を支援する予定なのか。また、ハスカップとアスパラガスを美唄の特産物としてPRしていく上で、十分な量と



地域人材開発センター



ハスカップ

なっているのか。

答 平成30年度は、ハスカップ樹は1000本、アスパラガス苗は6万株の支援を予定している。ハスカップ、アスパラガスともに支援は5年計画となっているが、平成29年度現在、ハスカップについては計画4年目で66・9%、アスパラガスは計画2年目で45・4%の支援にとどまっており、いずれも計画に対し、なかなか伸びていない状況である。こうしたことから、農協と生産組合において、今後の動向や意向について十分相談していただき、市としても、両特産品をどういった形で振興し

(9)

## 市議会だより

ていくことが望ましいのかと考えていきたい。

### ・商工費、土木費

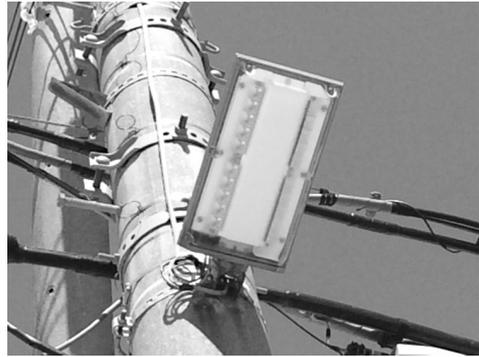
**問** 「国内外観光客誘致対策事業」の新年度の主な事業内容について。

**答** 空知総合振興局及び空知管内市町村との合同による台湾旅行博での観光プロモーションのほか、教育旅行推進のための滞在型体験プログラムの作成、飲食店等に対する訪問型接客外国語講座の開催、サイクリングガイドの育成などとなっている。

**問** 「街路灯補助事業」について、この事業がスタートしてから今年度までの進捗状況について。また、LED化が進んだことにより、行政や各町内会で負担する電気料金は削減されているのか。

**答** LED化については、平成27年度が664灯、平成28年度が883灯で計画どおりとなっており、平成29年度は530灯の予定に対し、現在のところ455灯となっている。進捗率については、平成27年度は27.3%、平成28年度は53.3%、平成29年度は

3月9日現在で67.6%となっている。



LED街路灯

また、LED化による電気料金の削減については、平成26年度と平成27年度の比較では、市の街路灯は104万9000円の減、町内会管理の街路灯は67万3000円の減で、平成27年度と平成28年度の比較では、市の街路灯は21万2000円の減、町内会管理の街路灯は204万3000円の減となる。

また、平成28年度と今現在の比較では、5月に北海道電力が再生エネルギーに関する賦課金という形で電気料金を値上げしたことから、市の街路灯については6万円ほどの

負担増になると試算しているが、町内会管理の街路灯は41万3000円の減となっている。

### ・消防費、教育費

**問** 「消防施設整備事業」について、光珠内分団詰所屋上防水とあるのは、雨漏りなどによるものなのか。また、「消防水利整備事業」について、消火栓の新設や更新、移設とあるが、具体的にどこを予定しているのか。

**答** 光珠内分団詰所に関しては、北西側から雨漏りが生じているため、その工事を行う



光珠内分団詰所

ものである。消火栓については、老朽化や要望等により、それぞれ東4条南5丁目付近に1基を新設、大通東1条南7丁目及び峰延町本町の2基を更新、東5条北8丁目付近及び西美唄町の2基を移設更新することで考えている。

**問** 「小学校大規模改修事業」について、中央小学校は建設されてから40年以上経過しているが、統廃合に向け対応できるような改修を考えているのか。また、適正配置に向けての考え方について。

**答** 通常3分の1の補助である国からの学校改善交付金が、統合することにより2分の1までかさ上げされるため、この機会に内部改修、外部改修のほか、体育館の改修など、大幅なりリニューアルを考えている。また、適正配置については、計画では将来的に中学校とともに1校で学級編成が可能と考えているが、その時期については、保護者や地域の方と十分話し合った上で議会議論をし、今後に向け考えていくことになる。

### ・職員費

**問** 昨年度と比べて、職員給与費と諸費が減額になっているのは職員数が減ったことによるものか。また、平成30年度の職員の新規採用者と辞退者の人数について。

**答** 職員については、平成29年度は293名を予算計上していたが、平成30年度は290名で3名減となっているため、職員費は3123万8000円の減額となっている。嘱託職員については、平成29年度は63名、平成30年度は60名で3名の減となっており、また、臨時職員については、平成29年度、平成30年度とも31人工で増減がないことから、諸費については、1228万4000円の減となっている。

また、平成30年度の新規採用者については、一般事務職が上級1名、中級2名、初級2名で、建築技師は1名、保育士1名、消防1名となっており、辞退者については、一般事務職の1名となっている。

**・歳入全般から一時借入金**  
**問** 奈井江火力発電所の休止を検討しているとの報道があったが、本市の鉱山税にどのよ

# 市 議 会 だ よ り

うな影響があるのか。また、関連する市内2社の状況把握について。

**答** 奈井江火力発電所の休止後の動向について、現状では把握ができていないが、業者からは、今後、納品先の取引業者が増えると聞いていることから、平成30年度予算については、前年度より増を見込んでいる。また、来年度の出炭量については、1社は今年度並みで、もう1社は増量を見込んでいると聞いている。

**6号** 平成30年度美唄市民バス会計予算

**問** 歳入におけるバスの利用料と歳出におけるバス運行費が、前年度よりそれぞれ増額している要因と、国庫補助金が前年度よりかなり減っている要因について。

**答** バスの利用料については、東線が微増すると見込んでいるため、また、バス運行費については、夏と冬のタイヤ代を40万円ほど見込んでいるため、それぞれ前年度より増額している。国庫補助金については、これまでは2010年の国勢調査の人口を用いて補

助の算定をしていたが、平成30年度においては、新たに2015年の国勢調査の人口を用いることになったことに加え、加算額が前年度の300万円から240万円に減額になったことが、主な減額の要因となっている。



市民バス

**7号** 平成30年度美唄市国民健康保険会計予算

**問** 平成29年度、平成30年度の国民健康保険の世帯数と被保険者数について。また、歳入歳出予算総額が、平成30年度は前年度対比で24.2%減少している要因と、市民にかかる保険税への影響につい

て。

**答** 世帯数は、平成29年度が3635世帯、平成30年度が3432世帯で5.6%の減、被保険者数は、平成29年度が5891人、平成30年度が5335人で6%の減となっている。

また、予算総額が24.2%減額となった要因については、人口減少、後期高齢者医療への移行者の増による国保税の減少、平成30年度からの国民健康保険の都道府県化に伴い、全道の市町村が医療費を共同負担することでの事業費の縮小などが考えられる。

なお、保険税率については、被保険者数や世帯数の減少を見込み、平成29年11月末の賦課情報により算出している。

**8号** 平成30年度美唄市下水道会計予算

**問** 「普通建設事業」について、下水道会計が昨年度より30.3%の減となっているが、汚水整備事業と雨水整備事業が大幅な減になった経緯について。

**答** この事業は、社会資本整備交付金を活用しながら事業

の推進を図っているが、この交付金が例年と比べ、大幅に減少したため、事業費の減少となった。

**9号** 平成30年度美唄市介護保険会計予算

**問** 「認知症施策の推進事業」について、平成29年度に実施した見守り声かけ模擬訓練の結果について。

**答** 9月に実施した見守り声かけ模擬訓練については、カフェの市民ボランティアなどの認知症サポーター養成講座を受けた方や、介護保険事業所の方など77名が参加し、声かけの仕方などの講習や、高齢者を発見するときの声かけの仕方などを実際に体験した。

**12号** 平成30年度市立美唄病院事業会計予算

**問** 新病院について、市民説明会で詳しく説明をしていれば、ここまで大きな話題になることはなかったと思うが、今後の市民説明会において、より詳しく説明するといった検討などを行っているのか。

**答** 今後の説明会では、わかりやすい資料など、工夫をしながら、どのようなタイミン

グがいいのか十分に検討した上で、市民の皆様にも説明したいと考えている。

**13号** 平成30年度美唄市水道事業会計予算

表1 補正予算		(千円)
<b>承認1号</b> 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第6号)		
補正総額 172,500 (千円)		
<b>歳入</b>	一般財	172,500
<b>歳出</b>	土木費 除排雪事業	172,500

<b>表3 補正予算</b>		(千円)	
<b>2号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第8号)</b>			
補正総額 16,394(千円)			
<b>歳入</b>	道支出		7,350
	市債		2,800
	一般財源		6,244
<b>歳出</b>	民生費	地域包括支援システム改修事業	810
	農林費	担い手確保・経営強化支援事業	4,165
		農業競争力基盤強化特別対策事業	6,370
	教育費	小学校管理運営事業	2,877
		中学校管理運営事業	1,155
	諸支出金	介護保険会計支出金	1,017
<b>【繰越明許費補正】</b>			
追加 農業競争力基盤強化特別対策事業 6,370			
<b>【地方債】</b>			
変更	農業基盤整備債	補正前	補正後
		5,900	8,700
<b>34号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第9号)</b>			
補正総額 90,847(千円)			
<b>歳入</b>	一般財源		90,847
<b>歳出</b>	商工費	特産品情報発信促進事業	2,049
	土木費	除排雪事業	82,955
		中心市街地除排雪事業	5,843
<b>3号 平成29年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第2号)</b>			
補正総額 9,843(千円)			
<b>歳入</b>	一般財源		9,843
<b>歳出</b>	諸支出金	過年度清算金	9,843
<b>4号 平成29年度美唄市介護保険会計補正予算(第2号)</b>			
補正総額 5,214(千円)			
<b>歳入</b>	国庫支出金		2,033
	道支出		1,017
	一般財源		1,017
	その他		1,147
<b>歳出</b>	地域支援事業費	介護予防マネジメント事業	5,214

<b>表2 補正予算</b>		(千円)	
<b>1号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第7号)</b>			
補正総額 6,492(千円)			
<b>歳入</b>	国庫支出金		△1,500
	地方債		1,500
	一般財源		6,492
<b>歳出</b>	土木費	都市計画一般管理事務	6,492
	教育費	体育施設整備事業(財源振替)	0
<b>【繰越明許費補正】</b>			
追加 都市計画一般管理事務 6,492			
体育施設整備事業 69,251			
<b>【地方債補正】</b>			
変更	体育施設整備債	補正前	補正後
		69,800	69,800

**問** 桂沢浄水場の工事の進捗状況はどうなっているのか。また、今後の水道料金の値上げについて。

**答** 桂沢浄水場の更新の進捗状況については、平成33年3月供用開始に向け工事を進め

ている状況で、平成29年度は、建設地盤の改良や基礎工事に関わる土地の整備などの土木建築工事などを行い、平成30年度は、建物の1階から3階までの建設工事や膜ろ過等の管理棟及び調整設備棟の建設

などを実施する予定となっている。また、水道料金については、平成27年10月に値上げしたため、今後5年以上は資金剰余金が見込まれ、不良債務の発生はないと考えているが、今後、さらに給水収益等

が減少し、資金不足による不良債務が発生することが予想されるため、不良債務が出ないような時期に料金改定の検討をしていく。

2・34・3・4・6・14号 質疑なし 原案

5号については異議があり起立採決の結果、原案のとおり可決

# 市 議 会 だ よ り

第1回臨時会での審査議案

承認第1号 専決処分承認

を求め件(平成29年度美  
市一般会計補正予算(第6号)  
(表1)

第1号 平成29年度美

一般会計補正予算(第7号)(表2)

委員長 金子 義彦(みず

は議員会)

副委員長 松山 教宗(公正

クラブ)

第1回定例会での審査議案

(簡単な内容説明です。委員  
会報告にある件は、委員会名  
を記載してあります。)

報告第1〜4号 例月出納検

査結果報告

報告第5号 定期監査報告

報告第6号 美唄市国民保護

計画変更報告の件

承認第2号 総務・文教委員

会所管事務調査の件

承認第3号 産業・厚生委員

会所管事務調査の件

承認第4号 議会運営委員会

所管事務調査の件

第3号 平成29年度美唄市

国民健康保険会計補正予算

(第2号)(表3)

(※議案第2・34・4号の補

正予算案件についての詳細も  
表3に記載されております。)

第5〜9・12・13号 予算審

査特別委員会

第10号 平成30年度美唄市介

護サービス事業会計予算

第11号 平成30年度美唄市後

期高齢者医療会計予算

第14号 平成30年度美唄市工

業用水道事業会計予算

第15〜17・19・20号 総務・

文教委員会

第18号 美唄市消防団員等公

務災害補償条例の一部改正の

件

第22・23・25・26・29〜31号

産業・厚生委員会

第21号 美唄市国民健康保険

条例の一部改正の件

第24号 美唄市後期高齢者医

療に関する条例の一部改正の

件

第27号 美唄市介護保険条例

の一部改正の件

第28号 美唄市指定介護予防

支援等の事業の人員及び運営

並びに指定介護予防等に係る

介護予防のための効果的な支

援の方法に関する基準を定め  
る条例の一部改正の件

第32号 財政調整基金の一部

積立て停止の件

第33号 美唄市公平委員会委

員選任の件

陳情第1号 「美唄市立地適

正化計画」に関する陳情

陳情第2号 「市立美唄病院

更新事業(建替え)計画」に

関する陳情

## 市議会の動き

1月

31日 地域医療体制等調査特

別委員会

2月

16日 議会運営委員会

20日 第1回臨時議会

26日 予算審査特別委員会

26日 議会運営委員会

3月

1日 第1回定例会開会

7日 一般質問

議会運営委員会

議会運営委員会

8日 一般質問

9日 広報委員会

9日 常任委員会

12〜16日

19日 予算審査特別委員会

19日 地域医療体制等調査特

別委員会

22日 第1回定例会閉会

22日 地域医療体制等調査特

別委員会

26日 議会運営委員会

26日 広報委員会

4月

3日 広報委員会

5日 広報委員会

10日 広報委員会

## お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。平成30年第2回定例会は、6月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。

## 編集後記

「市議会だより第43号」をお読みいただき、ありがとうございます。

今年の冬は、雪が多い年でしたが、長く厳しい冬がようやく終わり、新緑の季節を迎えました。

今定例会では、平成30年度予算を中心に議論され市政・教育行政・予算審議を行い、また9人の議員が二日間あたり一般質問を行いました。

市立美唄病院建替えについては、予定していた実施設計は、延期として市民の方々、関係する多くの団体と議論を深めていきたいとの報告が、市長からありました。

これからも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

(つ)

広報委員会

委員長 谷村 知重

副委員長 松山 教宗

委員 楠 徹也

委員 吉岡 建二郎